第2回 文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン作成検討会議

静岡県掛川市の地域部活動

活動の概要と実践事例

創部・第1日(5/8)~第43日(9/15)

齊藤 勇 (2018.9.19)

一般社団法人ふじのくに文教創造ネットワーク 理事長



(写真)掛川市役所表敬訪問 後列、左端は演劇担当講師(関根淳子)、右端は当部顧問(齊藤勇)

子どもたちの「自主性と自発性」を最大限に尊重しながら 先駆的なパラダイム転換を図り、部活動の原点回帰への道を拓く

静岡県掛川市で創部した地域部活とは?

本来、学校にあることが望ましい文化系の部活動を 学習指導要領に定義されている本質に立ち返り、学校教育界と協働しながら、 地域の産業界の支えによって、学校外に創設する 全国に先駆けた長期プロジェクト

沿革

2017年9月	静岡県文化プログラム 文化・芸術による地域・社会課題対応プログラムの一つに ふじのくに文教創造ネットワーク企画提案「新時代の課外活動への挑戦!」が採択 創部に向けて本格始動 プロジェクト名:地域部活"音楽×演劇×放送"文化創造部
2018年2月	小学 6 年生と保護者対象の説明会を 3 回実施
2018年4月	体験入部(計 6 回)実施
2018年5月	活動開始。市内4つの中学校より、それぞれ4名・4名・4名・3名の計15名が入部。
2018年8月末	部長・副部長を生徒の合議で選出
2018年9月	部の正式名称を生徒の合議で決定 ⇒ 掛川未来創造部 "palette"

- ★子どもたちの部活を実現するための運営プログラム
- ・活動全般において、**子どもたちの「自主性と自発性」を最大限に尊重**
- ・子どもたち自身が合議のもとで活動の方向性や企画を選択する形で意思決定
 - ⇒ 個々の芸術分野の技術や表現方法に関する指導を、専属の顧問スタッフが補佐しながら 子どもたち自身が各分野の講師に依頼する方式が基本スタイル
- ・部員の生徒個々へのインタビューを継続実施⇒ 個々の関心や意欲を把握し、次の活動ステージのプログラム策定へ柔軟に反映
- ・活動の節目で意欲や興味関心を引き出す動機付けのための啓発プログラムを実施 (各種レクチャー、各種ワークショップ、ディスカッション、シェアリング等)
- ★学校の部活動や習い事で行う「表現の練習と発表」は、文化創造部全体の活動の "3分の1"
 - ・「優れたアーティストの表現の鑑賞と交流」と各種文化芸術にふれる「移動教室」や各種ワークショップ等が活動全体の3分の2を占め、**従来型の「表現の練習と発表」は3分の1**
- ★学習指導要領との連動を図った中期的な活動プログラムをデザインして実施
- ・学校で学ぶ内容との関連づけを行い、相互に学習意欲の向上につながるよう工夫する。
- ・子どもたちの個性と自発的な意向を汲み取りながら、**最小単位でも3年間を一括りにした** 中期的な計画を立案し、子どもたちに選択肢を提示することで、子どもたちは入部以降、 **積み上げ式でステップアップできるプログラム**を実現。
 - ⇒ 1年単位で顧問教諭の異動の可能性があるため、毎年、同じ活動を繰り返す学校内の 部活動が持つ構造的な限界を超えた体制を構築しながらプログラム開発を実施
- ★部費無料、活動日は最大で调3日を厳守 ※但し、教材費等一部実費の徴収は有り。
- ・家庭の経済状況に関わらず、広く参加可能

 ⇒ お金の負担が少なく活動できる「学校の部活」という本来あるべき姿を取り戻す
- ・発表前の休日返上の集中的な長時間練習は一切行わない 学校の部活動や各種教室等の習い事、学習塾などとの掛け持ちが可能 (家庭内の教育費の有効配分の助けとなる)
- ★地域で「校外で行う部活動」を支えていくフレームワーク(支援体制の枠組み)の構築
- ・掛川地域の経済界・財界に、地域部活動を一体となって支えていく支援体制を構築
 - ⇒ 人的面での支援(講師、スタッフ派遣、プロボノとしての支援) 資金面での支援(1 社あたり年間で定額の協賛を 複数企業に協力要請)
- ・地域部活動の主要な活動に協賛各社の社員やその家族(子ども達)が参加可能で活動の受益者となりうるプログラムを複数回数、継続実施
 - ⇒「優れたアーティストによる表現の鑑賞と交流」のプログラムを中心に複数回開催

内 容:

学校の外で行う文化部「地域部活」を創設(掛川を中心に中高生を対象) ※2018 年度から中学 1 年生を入部受付おもに 音楽(吹奏楽を除く)、演劇、放送の3つが中心

- **音 楽** (レッスンは合唱を行う、そのほか、ピアノ・電子オルガン・ソロ ヴォーカル・ヴァイオリン等も参加可)
- 演劇 (モダンダンス、創作ダンス等も含む)
- 放送 (おもに 朗読、アナウンス、ナレーション、さらに映像制作、音響操作、写真撮影・取材、記事等の情報発信も含む)
- ※最初から特定のジャンルを選択して活動する形ではなく、複数のジャンルを順番に体験しながら、興味をもった ジャンルを個々に深めていく契機となる形態をとる。

プログラム:

- ① 各種(音楽、演劇、放送)表現の練習とプロ・アーティストと共演する形での発表
 - ※ ふじのくに文教創造ネットワーク (FCN) 主催公演などで、アーティストと共演する形で、1 年間の活動の成果を発表。その他、F C N 主催事業 (例: 子どもたちのためのファミリーコンサート) で短時間の発表等も随時行う。
- ② 優れたアーティストによる表現の鑑賞と交流
- ③ 土曜もしくは日曜を中心に地域の様々な文化資源に「移動教室」の形で訪問(参加体験)

そのほか、・**創造体験型プログラム**をはじめとした、各種ワークショップ

・地域の行事や伝統的な祭りなどに**共同企画**の形で参加(発表)※常にアーティストと共演

指導目標:

- ★感性が豊かな子どもたちの育成(シンプルに感動できる心)
- ★多様性を尊重できる寛容な子どもたちの育成
- ★主体性と協調性(自己発信力とコミュニケーション能力)の育成
- ★先人が築いた文化的遺産に感謝しながら、新たな文化を創造する姿勢の育成
- ★地域とつながることで、文化資源や産業を有する地域に対する誇りや愛着心を育む

|講師・スタッフ: ※以下は、2018年2月のセレモニーなど、3月迄の体制。平成30年度以降は一部変更あり。

芸術監督:佐藤 真澄 (掛川西高校教諭、音楽教諭)

音楽指導:萩原 順子 (メゾソプラノ歌手)

演劇指導:横山央 (SPAC俳優、掛川市出身)

演劇指導:関根淳子 (SPAC俳優)

放送指導:堤腰 和余 (朗読家)

特別講師(参加アーティスト): 奥村 友美(ピアノ) 西尾 舞衣子(ソプラノ) 池谷 貴恵子(電子オルガン)

顧問 兼プログラム開発 : 齊藤 勇 (FCN理事長)

副顧問 : 大村 容子、山本 捷子、岩谷 久美子(元・中学校や小学校教諭 など)

活動拠点: ※2018年9月以降は、活動拠点を掛川市生涯学習センターに変更。

掛川市生涯学習センター リハーサル室 および 会議室 等

活動日:

平日(火・木): 美感ホール、 週末 (土 or 日は隔週を基本): おもに移動教室 (美感ホールも有り) ※活動時間は、平日2時間、週末2~3時間程度(基本)、夏休みなど長期休業中は午前・午後の活動もあり。

0	活動日		(1) 練習と発表		表	② 鑑賞と交流	③ 移動教室	そのほか			
1	5	8	火	2	正式入部 活動開始			放送			
2	1	10	木	2				放送			WelcomePartyの準備
3	1	12	土	3	Welcome Party						
4	1	15	火	2			演劇				
5	1	17	木	2			演劇				
6	1	22	火	2		音楽					
7	1	24	木	2		音楽					
8	1	26	土	2						報徳社(見学と講話)	
9	1	29	火	2				放送			「夜明け」の合唱練習
10	1	31	木	2				放送			「夜明け」の合唱練習
11	6	2	土	2	ファミリーコンサート説明						「夜明け」の合唱練習
12	1	5	火	2			演劇				「夜明け」の合唱練習
13	1	7	木	2			演劇				「夜明け」の合唱練習
14	1	17	日	3					プロの吹奏楽 鑑賞	掛川西高校 訪問	「夜明け」の合唱練習
15	1	19	火	2		音楽					
16	1	21	木	2		音楽					
17	1	24	日	5	音楽フェスティバル参加	発表			プロ&高校生の演奏の鑑賞	音楽フェス会場(あすなろ)	「夜明け」の合唱発表
18	1	26	火	2	これまでの活動の振り返り			放送			副顧問・個別インタビュー
19	1	28	木	2	これまでの活動の振り返り			放送			副顧問・個別インタビュー
20	7	3	火	2			演劇				副顧問・個別インタビュー
21		5	木	2			演劇				
22		7	土	2	紹介ム―ビ―説明/会議						
23		10	火	2	紹介ムービー撮影						
24		12	木	2	紹介ムービー撮影						
25		19	木	2	移動教室説明/会議						
26]	22	日	2	7/29コンサート会場下見					7/29会場(あすなろ)	
27		26	木	2				放送			
28]	29	日	5	ファミリーコンサート制作参加					7/29会場(あすなろ)	紹介ムービー上映
29		31	火	5		音楽	演劇				8/26賛助出演の練習
30	8	2	木	2	掛川信用金庫 理事長 講話					掛川信用金庫・本部	紹介ムービー上映
31	1	7	火	2	掛川市長·表敬訪問					掛川市役所(市長)	紹介ムービー上映
32	1	9	木	5		音楽	演劇				8/26賛助出演の練習
33		11	土	3			演劇		ピアノ 鑑賞と交流		8/26賛助出演の練習
34	1	19	日	6	長尾さんコンサート協力				ヴァイオリン鑑賞と交流		コンサートスタッフ協力
35		21	火	5		音楽	演劇				8/26賛助出演の練習
36	1	23	木	5		音楽	演劇	放送			8/26賛助出演の練習
37	1	26	日	5	子ども芸術大学 出演・協力	発表	発表		朗読&ピアノ鑑賞	子ども芸術大学 コラボ公演	公演 会場スタッフ協力
38	-	28	火	2	8/26公演参加 振り返り						
39	<u> </u>	30	木	2	会議						部長・副部長選出
40	9	6	木	2	会議			放送			部の正式名称 決定
41	-	11	火	2	会議						係・役割分担、ルール検討
42	-	13	木	2	ワークショップ/会議						デザイン制作ワークショップ
43		15	土	5					浜松フィル演奏会鑑賞	アクトシティ浜松	

【地域部活の生徒と関わった皆様 および スタッフ】

芸術監督、音楽講師、演劇講師 2 名、放送講師 1 名、特別講師 3 名(ピアノ、ヴァイオリン、エレクトーン)、顧問、副顧問 3 名 静岡県文化プログラム・コーディネイター 2 名、掛川市長、掛川市教育委員会 教育長、掛川市文化振興課 課長・係長・演劇フェス担当 1 名 掛川市生涯学習振興公社・事業担当 2 名、ブリッツフィルハーモニックウィンズ 指揮者、公益社団法人 大日本報徳社 事務局長協同組合 静岡文化振興会 理事長、株式会社テクイジデザイン社長・デザイナー、ふじのくに子ども芸術大学 受講生(小中学生) 10 名 浜松フィルハーモニー管弦楽団 事務局長、6/24 公演・7/29 公演に出演した共演者各位(ソロアーティスト 4 名、高校の部活動 2 校)など

【表現内容】合唱曲「夜明け」を掛川西高校吹奏楽部の高校生と共演して歌う

作詞:旭川商業高校吹奏楽部平成10年度卒部生一同作曲:八幡映美(同部の部員) ※平成10年度の同部卒部式で顧問教諭にサプライズで歌ってプレゼントしたオリジナル作品。

【実践内容】

- (1) 音楽(2回) ⇒ ソプラノ、アルト、男声の各パートに分けれて音取り
- (2) 放送(2回) ⇒ 「夜明け」の詩を朗読体験



歌詞の言葉一つ一つに込められた意味や世界観をイメージしながら、 音楽にのせるのではなく、 言葉のみの表現を試みる。

(3) 演劇(2回) ⇒ 「夜明け」の作品が誕生した実話を演劇で再現



子ども達が各自演じる吹奏楽部員(楽器)と キャラクターのイメージを考え 台本無しでストーリーの大枠だけを決めておき、 即興で合唱曲「夜明け」誕生の芝居を演じた。

(4)移動教室 掛川西高校を訪問



合唱で共演する掛川西高校吹奏楽部 70 名と交流 自己紹介の後、合唱曲「夜明け」を一緒に練習 本番の会場に響く美しいハーモニーを 直感的にイメージできる機会となった。

(5) 音楽(2回) ⇒ 合唱の響きとハーモニーに磨きをかける



本番を前に、音楽講師から声を響かせる技術や 各パートごとの最終仕上げの指導を受ける。 ステージに立つ時のふるまいや 立ち方など姿勢について、本番の前に学ぶ。

(6) 本番 ⇒ 6月24日 ふじのくにユニバーサルミュージックフェスティバル 地域部活・創部の案内コーナーにて、お客様にはサプライズで合唱を行う



共演:掛川西高校吹奏楽部(ピアノ伴奏のみ合唱) 大勢の一般のお客様の前で、大合唱の響きの中に 包まれながら、全員で初めてのステージを体験 【概要】 ベートーヴェンの伝記(ロマン・ロラン作)の朗読と ピアノ演奏(ベートーヴェン作品)によるコラボ公演へのゲスト出演と プロのオーケストラによるベートーヴェンの交響曲のライブ演奏を鑑賞

【実践内容】

(1) 演劇(5回)&音楽(4回) ≪①表現の練習と発表≫

⇒ 夏休みのため、午前・午後で同日に実施 (ゲスト出演者は希望を募って決定)

演劇:希望する部員の人数に沿ったオリジナル台本を作成、読合せから始める。

演出は、プロの俳優の担当講師が指導。

音楽:合唱曲「心の中にきらめいて」(途中、ベートーヴェンの悲愴ソナタの旋律が登場)

希望者は女子のみだったため、全員でソプラノパートを歌った。

(2)特別講師によるピアノ演奏の鑑賞 ≪②アーティストの表現の鑑賞と交流≫



ベートーヴェンの名作のピアノ演奏を間近で体感。 演奏の合間にピアニストから作品の解説を聞いたり、 部員個々が演奏を聴いて感じたイメージを ディスカッションしたりしながら交流を行った。

(3) 生徒による世界史に関するレクチャー



歴史が好きな生徒が、夏休みに図書館で自習した内容を 部員みんなの前でレクチャーを行った。 フランス革命やナポレオンなど、ベートーヴェンと 直接関わる世界的な出来事について、みんなで学んだ。

- (4) 放送(1回) 朗読(伝記)の台本の内容を プロの朗読家の語りで聞く。≪②鑑賞≫
- (5) 本番 演劇と合唱の発表 (ふじのくに子ども芸術大学の発表会にゲスト出演) ≪①表現の練習と発表≫



朗読&ピアノコラボ公演「ベートーヴェンの生涯と音楽」にゲスト出演の形で、演劇と歌を披露。 朗読家、ピアニストといったプロアーティストと 朗読の講座の受講生の小中学生と共演した。。

(6) 移動教室 プロのオーケストラの演奏を鑑賞 ≪②鑑賞 ≫&≪③移動教室≫



移動教室の前に、生徒有志によるオーケストラの 基礎知識に関するレクチャーを行った後、 朗読や演劇の中に登場したベートーヴェンの 代表作「交響曲第5番 "運命"」をプロのオーケストラの 演奏で鑑賞。本番の公演で共演した朗読の受講生と 一緒に交流しながら、移動教室を行った。